

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	障害を持ち生活する人を支える看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	8 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	藤田 宏美	実務経験と その関連資格	看護師 大阪刀根山医療センター等で計19年勤務			
《授業科目における学習内容》						
外傷等により運動器系に障害を生じ、それまで普通に行えていたことができなくなるセルフケア低下の状態に陥った中途障害者が、セルフケアを再獲得し、再び「その人らしく生きていく」ための看護支援について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 運動器 成人看護学⑩(医学書院)						
《授業外における学習方法》						
指定した教科書を事前に読んでおくこと 授業終了時に示す課題を実施しておくこと 前回授業内容について復習をしておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
運動器系に障害を持つ患者の看護を学びます。運動器疾患の既習知識を活用しながら学びましょう						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動器疾患をもつ患者の特徴と看護の役割について説明できる	教科書		
		各コマにおける授業予定	運動器疾患に関する医療と看護の動向 運動器疾患をもつ患者の身体的問題とその援助 心理・社会的問題とその援助			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	外傷性の運動器疾患(大腿骨頸部骨折)の手術療法(人工骨頭置換術)を受ける患者の急性期の看護が説明できる	教科書		
		各コマにおける授業予定	術後の痛みのアセスメントと看護 術後感染症予防の看護 術後合併症(神経障害、深部静脈血栓症)予防の看護			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	外傷性の運動器疾患(大腿骨頸部骨折)の手術療法(人工骨頭置換術)を受ける患者の回復期・リハビリテーション期の看護が説明できる	教科書		
		各コマにおける授業予定	二次的合併症(脱臼)予防の看護 リハビリテーション療法を受ける患者の看護(徒手筋力テスト含む) 退院に向けての指導			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動器疾患の保存療法を受ける患者の看護が説明できる	教科書		
		各コマにおける授業予定	キプス固定を受ける患者の看護 牽引療法を受ける患者の看護			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標				
		各コマにおける授業予定				